



フラキッズ通信は、昨年10月より趣を変えて、プライムキッズでどのような教材をどのように指導しているか、また私自身やスタッフがお客様方を指導する上での思いなどをお伝えするように心がけています。とすると、自画自賛の内容で不快な思いをされる方もいらっしゃるかもしれませんが、皆様になるべく遠回りせず、お客様の成長を手助けできるようにとの一意で書かせていただいています。お目汚しにご覧いただければ幸いです。

プライムキッズステーション代表 齋藤 和宏

～記憶の定着と学習習慣～

エビングハウスの忘却曲線ってご存知ですか？

人間の記憶は、新しく覚えた事を次の日には70%忘れてしまいます。何もしなければそのままどんどん忘れてしまいますが、次の日に復習すれば記憶は100に戻り、1週間後には復習すればまた100に、そして1か月後に復習すれば完全に定着するという記憶の法則です。復習は、1回目の学習に比して2回目、3回目は短い復習時間で100に戻りますが、時間を空けてしまうと1回目と同じ学習時間が必要になります。

保護者が成績の振るわない自分の子を塾に入れる理由は、塾で成績を上げるための何か「特別なもの」を提供してくれるのではないかと期待しているからだと思います。実際、私も自分の子が小さいときにはそう思っていました。しかし、自分がこの世界に飛び込み、大手、個人いろいろ塾のやり方を研究し、また何百人の生徒たちを指導してきて、「特別なもの」など存在しない事に気が付くのにはさほど時間はかかりませんでした。成績を上げる、もしくは維持するために必要なテクニック、それは「忘れさせないこと」に集約されると思います。

学校の授業や教科書をすべて暗記し忘れなければ、定期テストではほぼ100点に近い点数が取れます。しかし、上記の通り人間は忘れる生き物です。残念ながら、テストではせっかく覚えた記憶が残っていかずなかなか点数に結び付きません。いわゆる頭の良い人、成績の良い人というのは、時間とともに忘れてしまう記憶が他の人に比べて少ないか、もしくは忘れないように反復学習をして、記憶を定着させる努力をしている人です。

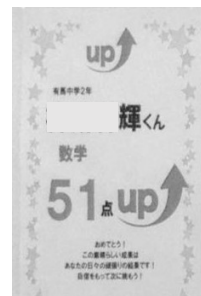
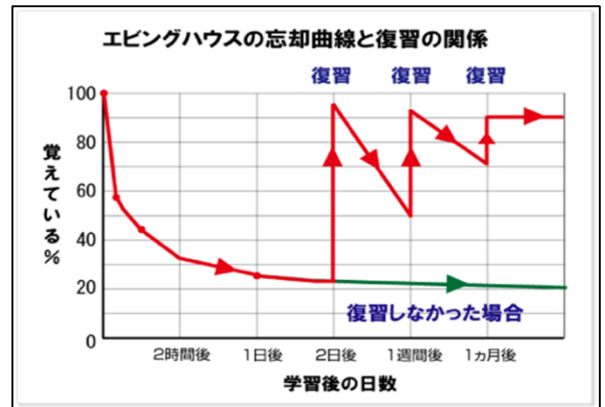
昔、私の塾である「チャレンジ」をしてみたことがありました。他の塾での成功体験を聞いてのチャレンジでした。それは、数学の苦手な中学生に「学校の数学問題集を3回以上反復演習させる」という単純なものでした。その結果、次のテストで生徒の成績が爆上がりし、大変な評判になりました。数学のテスト結果は平均20点アップ、一番上がった生徒で50点以上でした。たったそれだけで、なぜそのような結果になったと思いますか？

人間誰しも、1つの問題を解き終わると、出来た、出来なかったにかかわらず、新しい問題にチャレンジしたくなります。同じ問題を、時間を空けてもう一度やってみようという気にはなかなかならないものです。しかし、その時出来た問題でも、時間が経つとやり方を忘れてしまう、1回目にできなかった問題であれば、時間が経てばまた同じ過ちを繰り返して間違えてしまうことは明白です。にも関わらず、人間は「もう一度やってみよう」とは自分からはしないものです。そこで、塾長である私が号令をかけて、半ば強制的に、2回目、3回目を時間を空けてやらせてみたのです。すると、生徒たちは数学の問題を解く「コツ」を習得し始め、かつ間違えた問題を脳の中で自然に修復して間違えないようになって行きました。結果、いつもなら試験中に出来なくてパニックになってしまう数学の問題が、スラスラ解けるようになったのです(なったそうです)。

数学であれば「解き方、やり方を覚える」ことが重要ですが、理科や社会であれば、丸ごと暗記が重要になってきます。数学以上に何度も何度も反復学習をして、頭の中に完全に記憶をこびり付けさせるまで暗記を繰り返さなければなりません。中学3年間、社会で90点を下回ったことがない生徒がいました。その生徒の勉強方法は、ひたすら教科書の暗記でした。国語の勉強方法も教科書の暗記でした。よく「そんな勉強方法では今の時代は点数が取れない」と言う方がいますが、昔も今も勉強の基本スタンスは変わっていません。まずは、何度も反復学習をして、「基本をしっかり定着させること」が重要です。基本さえしっかり習得すれば、テストで80点は取れます。応用問題をやるのは基本が100%定着してからです。ちなみにこの生徒は早稲田大学政治経済学部に進学し、時折フラキッズにもお手伝いに来てくれています。

なかなか成績の上がない子供に業を煮やし、「何か特別なもの」を求めて塾来る保護者様が考えるその特別なものとは、「応用問題」、もしくは「宿題」と考えていらっしゃる方が多いです。しかし、基本が定着していないのに応用問題をやっても永遠に成績は上がりませんし、宿題は見えていないとやっつけになって反復学習になっていないケースが多いです。成績を上げるのは自分次第です。反復学習をやるかどうか…塾の役割は、その仕方をしっかりレクチャーし、生徒にモチベーションと学習するための環境を与えることだと思います。なかなか難しく、毎日長時間の学習環境を与える塾などそうはありません。その点、フラキッズは毎日1時間以上の学習を、小学校低学年生から実践している唯一無二の学童、学習塾と思います。

1年生が、まもなく2年生になります。この1年間で大きく、逞しく成長を遂げました。最初のいやいやだった1年生が、今では毎日自らテキストとノートを開いて長時間学習する姿を、私たちスタッフも目を細め、感嘆しながら見つめています。



	数学問題集を3回以上やった生徒の成績向上実績		
	2年 期末	3年前期 中間	3年前期 期末
Aさん	39	57	75
Bさん	41	60	88
C君	39	78	70
D君	56	88	79



～まもなく新入生が来ます！～

2022年4月に入学される新1年生を、新たに両店舗で23名迎え入れる予定です。1年前にドキドキしながらやってきた現1年生も、4月からいよいよお兄ちゃん、お姉ちゃんになります。楽しみですね！

新型コロナの第6波がピークアウトしたとはいえ、高止まりが続いている状況です。新しいお友達をたくさん迎え入れるにあたり、私たちも今まで以上に皆様方の衛生管理を徹底して参る所存ですが、万一、**お子様の体調が優れない場合は軽微であってもご利用をお控えくださいますようお願いいたします。**引き続き、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

～漢字検定を実施～

2月19日日本漢字能力検定協会の漢字検定を実施しました。両店舗合わせて総勢26名が参加。みんな初めての検定試験に普段の勇ましさはどこへやら（笑）、神妙な面持ちで試験に臨みました。結果は約1か月後。何カ月もかけて準備をしてきたので、きっと全員合格です！



HAPPY BIRTHDAY

【中川】

【あざみ野南】



ななちゃん



さほちゃん ちさちゃん まなちゃん



かほちゃん



あさひくん



さきちゃん



みほちゃん



こうやくん

～プライムキッズからのお願い～

●コース変更・・・毎年、年度替わりの時期には、コースの変更を検討される方が多くいらっしゃいます。コースの変更は、毎月10日が締め切りとなります。10日までのコース変更届ご提出で翌月からの変更が可能です。ご退会・休会も同様に、10日までの退会・休会届のご提出で、当月末までのご退会・休会が可能です。10日を過ぎると翌月からの変更が不可能（料金が発生）しますのでお気を付けください。
ただし、「2022年度プライムキッズステーション利用申込書」を1月中にご提出いただいた方は、4月1日からの変更について上記届出書類のご提出が省略できます。

●毎月の「利用予定表」を必ず①、②と分けてご提出をお願いします。①は期限までに、②は学年だよりが学校で配布されましたら下校時刻を記入してご提出ください。ご協力をお願いいたします。

●卒業式の日への対応

3月18日の卒業式（公立小）は、6年生以外の生徒は学校がお休みです。この日プライムキッズは朝から開室になります。朝8時～13時までのご利用は、週5日会員は無料、週2日～週4日会員は有料でご利用いただけます。（ガイドブックP12～P13参照）

プライムキッズステーション
ホームページ
<http://www.primekids.jp>



○プライムキッズ日常の様子をホームページからご覧いただけます。
○ホームページから、ガイドブックや各申請書がダウンロードできます。パスワードは「primeprime」です。